

議会議員 **春山としあき**

<http://toshiaki-haruyama.net/>

ホームページ QR ⇒

赤坂町 6 5 - 4

TEL・FAX 24-0374

NO.77 2021. 10. 8.(金)



「令和 2 年度佐野市一般会計」他 6 件  
歳入歳出決算認定審査の議案を可決

9 月定例議会においては、通常の上程議案等の議案審議に加え、前年度の一般会計他 6 会計（国民健康保険の①事業勘定と②直営診療施設勘定 ③介護保険事業勘定 ④後期高齢者医療 ⑤水道事業会計の利益の処分 ⑥下水道事業会計の利益の処分）を審査する特別委員会を設け、認定の可否を含む議案審議をした議会でした。

会派「新風」では、設置された決算審査特別委員会委員長に田所議員が委員長に就任し、横田議員が副議長席より見守る中、残る横井議員と私が「一般会計」と「特別会計・企業会計」7 議案の審査質疑をし、最終日に私が会派を代表して全 7 議案に対する賛成討論を行いました。

令和 2 年度の 1 年間は、前年度の令和元年東日本台風(19 号)被災による「復旧・復興」と、令和 2 年 2 月頃より感染が広がり始め、今も猛威を振るう新型コロナウイルス感染症の感染対策(以後、「コロナ対策」と、略す)に、明け暮れた一年でした。行政と議会においては、「復旧・復興」と「コロナ対策」により、18 回に及ぶ補正予算案等の為に、臨時会を 4 回開催し、年 4 回の定例議会と合わせ 8 回の議会より、以下概要の各決算案が示され、認定可決しました。

一般会計の歳入決算額 681 億 6,068 万 1,000 円  
歳出決算額は 644 億 5,289 万 9,000 円であり、歳入歳出差引額は 37 億 0,778 万 2,000 円で、うち繰越財源 5 億 5,050 万 5,000 円を差し引いた令和 2 年度実質収支額は 31 億 5,727 万 7,000 円、さらに令和元年度の実質収支額 27 億 4,787 万 7,000 円を差し引いた単年度収支額は、4 億 0,939 万 4,000 円の黒字決算となっています。

現世代の私達が初めて経験した(している)  
台風被災復旧復興決算と、感染症対策決算から

何をともに学び

持続可能性を高めるべきか ?!

私は、予算現額 74 億 2,677 万 6,000 円、支出済額 29 億 9,064 万 6,000 円、支出割合 40.3%、翌年度繰越額 4 億 4,084 万 2,000 円の令和元年東日本台風による災害復旧・復興の決算より、不用額 39 億 9,528 万 8,000 円について質疑をしました。当局からは「災害土砂や災害ごみ等の発生量の推計と実際処分量に大きな差異が生じたこと。また、これ以外の災害復旧事業において、想定した事業費と実際の事業費とに差異が生じたため」との説明に、私達世代が初めて経験した大規模で甚大な被災状況を前に、戸惑いながらも懸命に職務にあたられていた職員の皆さんの姿を思い出し、改めて被災対応の難しさを実感しました。今後、気候変動・地殻変動による自然災害の多発化・大規模化が危惧される中、この経験をいつ起きるか分からない災害対策に遭遇した際に、役立てるよう、しっかりと総括しておくことを求めました。



次に、「新型コロナウイルス感染症対策に関する 44 事業」の当初予算額は、44 万 4,000 円、予算現額 158 億 2,046 万 9,000 円、決算額 148 億 7,068 万 1,000 円の総計額を初めて確認しました。そこで、私は、「財源内訳」を依存財源と自主財源に仕分けしてみました。まず国からの「国庫支出金」137 億 1,577 万円の割合が 92.2%。うち「臨時交付金」12 億 1,173 万円 8.1%。県からの支出金 2,722 万円 0.2%。地方債 8,270 万円 0.6%の依存財源合計が 138 億 2,569 万円であり、割合が 93.0%になりました。自主財源としては、一般財源 2 億 3,641 万円 1.6%。その他 8 億 0,858 万円 5.4%の合計額 10 億 4,499 万円の割合が 7.0%の額と割合になりました。今後いざという時のために、ある程度の自主財源確保の必要性を感じました。



次に、私は、このコロナ対策「44 事業」を分野別に区分けをした合計額と割合を伺いました。①として「市民生活支援・13 事業」122 億 9,353 万円 82.7%。②「事業者支援・5 事業」14 億 0,963 万円 9.5%。③「医療機関・3 事業」9,720 万円 0.6%。④「教育施設や福祉施設・14 事業」8 億 9,504 万円 6.0%。⑤「その他・9 事業」1 億 7,528 万円 1.2%。答弁より「市民生活支援事業」には、「特別定額給付事業費」117 億 9,745 万 2,451 円が含まれていることから 8 割を超える支出。

次に多いのが「緊急景気対策事業費」13億5,319万2,534円を含む「事業者支援」9.5%であり、緊急事態宣言による制限措置に対する事業者支援。そう言った中、令和2年度においては、医療機関関係は思ったより少ない感じがしました。そして、教育施設や福祉施設においては、子ども達の「GIGA スクール構想推進事業費」による端末機器購入に執行されたものが大部分でした。こうしたことから当局においては、「感染症が拡大する状況下において、市の役割として、まずは、市民の皆様の生活を支え、暮らしを守ることに力を注いできたということが、決算の傾向としても表れていると認識している」との答弁、まさしく的を得た予算執行でした。

令和2年度中にあった復旧・復興対策と、まだ渦中にあるコロナ感染対策においては、毎年の歳入歳出の決算状況と大きく異なったものとなったと私は思っています。新型コロナ感染対策においては、現在、第5波の山を越え陽性者が減りつつありますが、報道による専門家の話として、減少のハッキリとした要因は分からないと複数の方の見解があります。今後とも変異するウイルスにおいては、完全に撲滅することは難しいことのように、収束の見通しもつきませんが、沈静化した暁には、しっかりとした総括をお願いしました。

## 9月議会・私の一般質問

### への主な答弁概要 1、「市内に潜在する交通危険箇所から子どもを守る対策強化について」

令和2年6月千葉県八街市で下校途中の小学生5人が交通事故により死傷した現場は、大型車が通るには道路幅員や通行量の問題もあり、10年前に当該PTAより市に対し、子ども達の安全確保策としてガードレール等の設置要望をしていたそうです。しかし、市からは「予算等のこともあり」実現に至らなかった箇所とこのことを報道で知りました。そこで、本市においては、同じように要望があつて6年以上経過した箇所が何件あるのか質問したところ「56箇所」との答弁がありました。

その中の一つは、私が21年前からこれまで4回危険な通学路として一般質問を繰り返してきた都市計画道路3・4・203号伊勢山赤坂線について、今回市長より「(昭和38年)と、58年経過しているわけではありますが、都市計画決定がされており、佐野市駅南部分は未整備区間となっております。このことにより、歩行者や自転車通行に支障を来している状況は、十

分認識をしているところですよ」と、この構造上の複雑難易な問題の大きさと、交通状況変化を踏まえ「見直しが必要な都市計画道路であると考えているところですよ」との答弁を頂きました。都市建設部長より「今後は、まず現状把握のための調査であったり、再度警察との協議を行い、当該区間に合った対策を図っていくとともに、歩道整備を含めた整備計画を作成し、安全に通行できる道路整備を進めてまいりたいと考えております」との答弁を頂きました。

2、「公共交通空白地域解消と『フルーツ吾妻線』について」は、11月1日発行の「議会だより」79号をご覧ください。



## 9月定例議会：日時・審議結果等

開会日(付議案件)	9月3日(金)午前10時
◎報告6件	「公益財団法人佐野市民文化振興事業団の経営状況を説明する書類」★「公益財団法人佐野市農業公社の経営状況を説明する書類」★「株式会社どまんなかたぬまの経営状況を説明する書類」★「継続費精算報告書」★「令和2年度健全化判断比率及び資金不足比率」★「市長の専決処分事項の報告」：説明
◎令和2年度決算関係議案7件	：提案説明
◎上記決算関係以外の議案16件	：提案説明
◎陳情第1号「国に対し『刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書』の提出を求めることに関する陳情」	
二日目(質疑、表決、委員会付託)	9月7日(火)午前10時
◎報告6件	：質疑なし
◎議案	「人権擁護委員候補者の推薦 4件 質疑なし 同意
◎議案76号「令和3年度佐野市一般会計補正予算(第5号)」	質疑1名 討論なし 可決
◎11議案	質疑1名 委員会付託
◎令和2年度決算関係議案7件	：質疑なし委員会付託
一般質問8日(水)7名:9日(木)8名:10日(金)8名	
4常任委員会	13日(月)と14日(火)午前/午後
◎議案審査結果	全議案を可とした
◎決算審査特別委員会 開催日	質疑者数
一般会計	9月16・17日 18人(春山)
特別・企業会計	9月17・21日 13人(春山)
	討論 6人 全議案7件 認定
最終日 開催日時	9月27日(月)午前10時
◎常任委員会の委員長報告	質疑・討論なし 原案可決
◎決算関係以外の議案16議案	原案可決
◎令和2年度決算関係議案7件	決算審査特別委員会委員長報告 質疑無し
	討論 6名 (春山:会派代表6番目に行く)
◎陳情第1号	：討論2名 不採択
◎意見書案第1号「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書について」	質疑・討論なし 原案可決

--


<b>開会日</b> 9月3日(金)午前10時 <b>付議案件</b> ◎報告 6件：「公益財団法人佐野市民文化振興事業 団の経営状況を説明する書類」★「公益財団法人
--

佐野市農業公社の経営状況を説明する書類」★「株式会社どまんなかたぬまの経営状況を説明する書類」★「継続費精算報告書」★「令和2年度健全化判断比率及び資金不足比率」★「市長の専決処分事項の報告」：説明

◎令和2年度決算関係議案7件：提案説明

◎上記決算関係以外の議案16件：提案説明

◎陳情第1号「国に対し『刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書』の提出を求めることに関する陳情」

